令和２年度研究推進計画

江田島市立江田島中学校

１　研究主題及び研究仮説について

（１）研究主題

自他ともに大切にする児童生徒の育成 ～小中９年間を見通した道徳科の授業づくりと評価を通して～

（２）主題設定の理由

本校では，昨年度，江田島中学校区で文部科学省委託　広島県教育委員会より，「道徳教育改善・充実」総合対策事業（メニュー２）の指定を受け，研究主題を「自他ともに大切にする児童生徒の育成～小中９年間を見通した道徳科の授業づくりと評価を通して～」とし，切串小学校，江田島小学校との連携の促進並びに児童生徒の発達の段階に応じた実践研究を行ってきた。その具体的内容は，次の３点である。

①　小中で一貫した道徳教育推進体制の整備【推進体制の確立】

②「道徳科」の指導の充実【授業づくり】

（中心発問の吟味，話合いの検討，自己を振り返る時間の充実（導入，終末））

③「道徳科」の評価の在り方【評価】

（期待する児童生徒の変容（Before→After）の具体的な姿の設定）

その結果，アンケート調査によると，道徳の授業の中で自分自身を振り返ったり，友達の意見を聞いて考えを広げたり，深めたりする児童生徒が増えてきた。そして，「自分にはよいところがある」，「分かってくれる友達がいる」という自分自身の内面への肯定的評価は全体の85％を越える結果であった。さらに，昨年度，児童生徒の発達の段階を意識し，道徳の価値項目，主題解釈，教材解釈を吟味して授業を行ったことで，目指す児童生徒の姿がより明確になり，実態に沿った授業展開が行いやすくなった。そのことから，発達の段階に応じた授業の大切さを改めて認識し，今年度も継続する意義を強く感じた。

一方で，Before→Afterによる見取りだけでは，児童生徒の一面的な評価にとどまり，本時で取り扱う道徳的価値に対する児童生徒の姿や友達と意見を交換することによる児童生徒の変容，授業展開や発問など，教師に対する評価という点で不十分だった。何を考えさせて，どこで話合いをさせるか（考え議論する道徳）という見通しを持った授業を展開するためには，自分自身と向き合わせて考えさせる場面をどこにするか，友達の意見に触れ，多面的・多角的な見方へと発展させ，考えを深めさせるのはどこにするかということを明確にする必要があると分かった。また，その見取りをするための評価の基準を設定する必要性を感じた。

そこで今年度は，研究主題「自他ともに大切にする児童生徒の育成～小中９年間を見通した道徳科の授業づくりと評価を通して～」を継続し，児童生徒の発達の段階に応じた道徳科の授業改善に重点を置いて取り組む。さらに，指導者が授業展開の中で，自己を振り返る場面，話合いの場をどのように設定し，どの基準で評価するかを明確にしていく。このように，児童生徒の見取りを明確にして授業を行うことで，児童生徒が自己の生き方を見つめ，他者の考えを受け入れ，多面的・多角的に学び合う活動が活発化されることにより，自他ともに大切にする児童生徒が育成されると考える。

（３）研究仮説

発達の段階を踏まえ，評価の視点を明確にした道徳科の授業を展開すれば，自分の考えや行動に自信が持て，相手を思いやったり共感したり，協力し合ったりするという自他ともに大切にする児童生徒が育つであろう。

（4）研究主題に対する基本的な考え方

研究主題の「自他ともに大切にする」という児童生徒の姿を本校区では，次のように整理した。

＜自他ともに大切にする児童生徒の姿＞

	自分を大切にする姿	他者を大切にする姿
小学校　低学年	・明るく素直な心をもち，よいと思うことを進んで行おうとする姿。	・相手が気持ちよくなる言葉遣いをしようとする姿。
小学校　中学年	・粘り強く努力することで，自分の長所を伸ばそうとし，明るい心で伸び伸びと生活できる姿。	・友達のことを自分のこととして考え，友達と互いを助け合うことができる姿。
小学校　高学年	・自分の長所や短所を認め，自己の向上のための目標をもち，伸長・改善するための努力ができる姿。	・広い心で自分と異なる意見や立場を尊重し，相手の立場を考えた行動や言動ができる姿。
中学校　１～３年	・自分の考えや気持ち，個性を理解し，それを肯定的に受け止めている姿。 ・自分の理想像をもち，その実現のために（仲間と共に協力して）一歩ずつ努力している姿。	・相手の考えや気持ちを想像し，相手のために自分ができることを考え，行動している姿。

さらに，研究主題の副題である「小中９年間を見通した」授業をする必要性，すなわち「発達の段階を踏まえた」について，次の通りに捉える。

児童生徒の道徳的価値は，どの学年においても必要不可欠なものであり，児童生徒の習熟度及び発達の段階などを考慮して，適時性のある内容項目を選んでいく。学習指導要領「第２　内容」で，学年段階ごとの内容に示されている通り，授業で取り扱う教材では，児童生徒の発達の段階や実態等に応じた主題解釈や教材解釈を行う必要もあると考える。

２　研究内容

昨年度から継続する取組として，下記の２点を挙げる。この２点に取り組むことにより，道徳の授業において，児童生徒が自分の考えを持ち，前向きに話合いをする姿が多く見られた。また，さらなる授業改善に向けて，教師の授業に対する意識が高まっていった。

○　児童生徒の発達の段階を踏まえた授業づくり

・価値項目，主題解釈，教材解釈の吟味

○　ねらいを明確にした指導と評価の一体化

・具体的なねらいの設定

・期待する児童生徒の変容の具体的な姿（Before→After）の設定

そして，さらに，授業の質を向上させるために，今年度は，新たに次の点を設定する。

○評価の視点の明確化

①自分自身との関わり〔ア～エ〕
②多面的・多角的な見方〔オ～キ〕
③自己の生き方を見つめる〔ク～ケ〕

このア～ケまでのうち，本時のねらいに即している視点をその授業の柱として選び，指導案に明記していくこととする。

（1）検証の指標

検証の視点	質問項目	検証の指標	達成目標（時期）
① 「授業力向上」に関するアンケートの肯定的回答。	・道徳科の授業では，自分のことを振り返りながら考えている。 ・道徳科の授業では，友達と話し合うなどして，自分の考えを深めたり，広げたりしている。	児童生徒の肯定的評価の変容（４月と 12 月）	児童生徒の肯定的評価 ８５％以上（12 月）
② 「対人関係（内面）」に関するアンケートの肯定的回答。	・自分にはよいところがあると思う。 ・あなたをよくわかってくれる友だちがいる。		
③ 「行動に関する」に関するアンケートの肯定的回答。	・相手のことを思いやり，親切にしている。 ・みんなで協力し合って，よりよい学級や学校をつくろうとしている。		

（2）評価の視点

授業改善として，本時のねらいに即した，「授業評価のための基準」を設定する試みがさまざまな教育現場で取り入れられている。「授業評価のための基準」として，①道徳的価値の理解を自分とのかかわりの中で深めている，②一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展している（独立行政法人教職員支援機構，山口県ほか）という２つの基準が多く，さらに，③自己の生き方を見つめている（広島大学　宮里智恵ほか）という視点も推奨されている。

そこで，本校区では，これらの３つの視点に照らしながら，学習指導案の中に明記し，児童生徒が記述した内容や発言を評価していく。あらかじめ，教師が設定した視点に沿った記述や発言が多く見られれば，本授業は，ねらいに迫る授業であったと判断できると共に，その内容についての検証も進めることができる。しかし，そうでなかった場合は，授業のどの部分に課題があったのかと改善点を明確にし，授業改善につなげていくことができると考える。

《授業評価のための基準》

●「道徳的価値の理解を①自分とのかかわりの中で深めているか」

ア　読み物教材の登場人物を自分に置き換えて，「自分だったらどうするかな。」と考えている。

イ　「今までの自分はこうだったけど，変えていこうかな」と行動や考えを見直している。

ウ　自らの考えを持ち，友達と比べて議論する中で，よりよい考え・行動の意味に気付いている。

←「ぼくは，こう思っているんだけど，友達の意見を聞くとそっちの方がいいな。」

エ　その価値理解はできているが，「そうは言っても，自分には，同じようにすることはなかなか難しいな。」と考えている。

●「一面的な見方から　②多面的・多角的な見方へと発展しているか　」

オ　ある状況の中で，様々な視点からよりよい考え・行動を見つけようとしている。（多面的）

カ　ある状況の中で，異なる立場の人の見方を考えた上で，その場におけるよりよい考え・行動を見つけようとしている。（多角的）

キ　複数の道徳的価値の対立（葛藤）が生じる場面の中で多面的・多角的に考えている。

←「〇〇してはいけないんだけど，□□してしまうな。」

●「どのような生き方をしたいのか考え，③自己の生き方を見つめているか」

①エから発展して

ク　その価値の難しさを乗り越えて，それが「できるようになりたいな。」と思っている。

②キから発展して

ケ　葛藤が生じる場面で

「けれども，〇〇することが大切なんだな。これから，そのように生きていきたいな。」と思っている。

３　研修計画（予定）

※重点内容項目『Ｂ　主として人との関わりに関すること』に絞り，研修を行う。

時期	内　　容	
	参加可能な教職員のみ参加する研修	全教職員が参加する研修
４月	推進体制作り	
６月	15(月)　江中授業研①(堂中教諭，川中教諭) 講師　広島大学大学院人間社会科学研究科教授 宮里　智恵先生来校 ~~23(火)　切小授業研①（松岡教諭，天野教諭）（２クラス）~~	
７月	８(水)　江中授業研②(市川教諭，川中教諭) 県教委指導主事来校	
８月		11(火)　小中合同研修①宮里先生来校 江田島中学校にて 10:30～12:00
９月	18(金)　江中授業研③(川本教諭，川中教諭) 県教委指導主事来校	
10 月	14(水)切小授業研①（　　教諭，　　教諭） （２クラス）宮里先生来校 兼　江田島市道徳教育推進協議会	
11 月	24(火)　江小授業研①（坂倉教諭）宮里先生来校	
１月	19(火)　江中授業研④~~（公開研究会）~~ （~~小２クラス，~~中２クラス）江田島中学校にて ~~切小（　　教諭，　　教諭）~~ ~~江小（　　教諭，　　教諭）~~ 江中（後藤教諭，長田教諭・岡林教諭，佐々木教諭） 兼　江田島市道徳教育推進協議会 宮里先生来校，~~県教委指導主事来校~~	
２月	今年度のまとめ作成	
３月	来年度の計画・立案	